

荒川区教育委員会
教育長 高梨 博和 様

荒川区立尾久八幡中学校
校長 近江 貞之

学校関係者評価報告書

令和3年度の教育活動の評価結果及び改善方針について、下記のとおり報告します。

記

評価項目1「学校全体の様子」				
*肯定的な評価（A+B評価）の年度別推移（以下同じ）				
	R2	⇒	R3	⇒ <u>R4</u>
生徒	84.2%	⇒	88.4%	⇒ <u>90.0%</u>
保護者	86.8%	⇒	88.8%	⇒ <u>88.6%</u>

○ 概ね満足できる評価である。どの観点においても、生徒評価の向上が見られる。

○ 「生徒が生き生きと楽しい学校生活を送れた」の項目で、生徒94%、保護者91%の高い評価であり、コロナ禍でいまだ制限のある中で、学校の意義や教育活動が評価されたことは、とても価値のあることであり、嬉しい評価である。

評価項目2「学力向上の取組」				
	R2	⇒	R3	⇒ <u>R4</u>
生徒	75.6%	⇒	81.6%	⇒ <u>76.6%</u>
保護者	68.0%	⇒	72.6%	⇒ <u>74.2%</u>

○ 昨年度とほぼ変わらない数値あるが、図書館活用の生徒評価が低下したことは課題である。

○ 授業改善や学習習慣、図書館の活用において、今後も肯定的評価が上昇するように、意識して学校全体で取り組む。また、保護者の「よくわからない」の回答が減少するよう、ホームページや学校だより等を活用し、家庭への情報発信を積極的に行っていく。

評価項目3「社会性・人間性の育成」				
	R2	⇒	R3	⇒ <u>R4</u>
生徒	84.0%	⇒	85.4%	⇒ <u>85.8%</u>
保護者	79.2%	⇒	79.6%	⇒ <u>79.2%</u>

○ 人間関係作りの項目においては、生徒評価92%、保護者評価96%と満足のできる評価である。また、教育相談の項目において、生徒評価の向上は嬉しいことである。

○ 教育相談の経験が少ない生徒がいるため、評価を下げていることもうかがえる。今後も人権教育や道徳教育の理解を深め、自他を大切に、他者を尊重できる心を育成していく。

評価項目4「保護者・地域との連携」

	R2	⇒	R3	⇒	R4
生徒	66.6%	⇒	71.2%	⇒	<u>75.2%</u>
保護者	71.2%	⇒	76.6%	⇒	<u>78.4%</u>

- コロナ禍においても、全体的に保護者評価が向上している。保護者会や学校行事等の参観の工夫を進め、保護者との関係づくりをさらに良い方向に構築していく。
- 保護者・地域と連携を進める中で、今後も説明責任を果たせるよう努力する。
- 少しずつではあるが、地域行事等に参加できる状況になってきたことは嬉しいことである。

評価項目5「特色ある教育活動」

	R2	⇒	R3	⇒	R4
生徒	84.2%	⇒	84.6%	⇒	<u>88.8%</u>
保護者	77.6%	⇒	78.2%	⇒	<u>83.4%</u>

- 今年度から評価内容を見直したため、一概には評価が上がったことを比較できないが、満足のできる評価である。
- 生徒が主体的に活動し、知徳体の調和がとれ、「文武両道」「品格・礼節」のもと、より充実した魅力ある学校生活を送れるようにしていくことは、本校にとって課題となる。

評価結果を受けての学校の改善方針

- ◎ 本校教育活動の成果を生徒たちのより良い姿としてあらわす努力を絶えず行っていく。
 - ◎ 感染症予防対策を引き続き行いながら、今できることを見極め、最善を尽くしていく。
- [学校全体の様子]
- ・ 生徒たちが主体となって、生き生きと楽しく学校生活を送れることを第一に、学校経営・運営に取り組む。
 - ・ 生徒一人一人の良さや可能性を最大限に引き出す教育に努める。
- [学力向上の取組]
- ・ 今後も授業改善を進め、分かる授業やできる授業、魅力のある授業のさらなる充実を図り、学力調査においても全ての学年・教科で区平均を基準に3%の向上を目指す。
- [社会性・人間性の育成]
- ・ 教育相談の活用・充実をさらに進め、いじめや不登校の防止に取り組み、生徒が自己有用感を味わうことができる学校づくりに努める。また生徒の自治的な活動を保障し、適切な支援を行う。
- [保護者・地域との連携]
- ・ 保護者会や学校行事の工夫や充実にも努めるとともに、情報発信を積極的に行っていく。
 - ・ 保護者や地域の意見や要望を受け止め、学校運営や教育活動の改善に努める。
- [学校の特色ある活動]
- ・ 生徒や保護者が、尾久八幡中学校に入学して（させて）良かったと感ずることができるよう、校訓「文武両道」「礼節・品格」のもと、学校教育活動を充実させていく。